

① 制度の概要

情報通信研究機構が**平成8年度から実施**している、外部研究リソースを活用した効率的・効果的な研究開発推進制度です。高度通信・放送分野の先端技術開発を機構以外の研究機関に委託します。

📁 支援金額

❑ 課題242・243

最大1億円/年度

期間：2025-2027年度

❑ 課題244

2025年度4,000万円

2026-27年度1億円

🎯 対象となる取組

【課題242】 結合モード空間多重伝送

- ☐ 汎用計算機活用によるソフトウェア実装
- ☐ 空間多重数に柔軟かつ高効率な送受信信号処理
- ☐ 並列信号処理要素技術の研究開発

【課題243】 超広帯域光信号計測

- ☐ 10Tbps級光ファイバ伝送技術
- ☐ DC～200GHz級超広帯域信号計測技術
- ☐ デバイス等の高周波・広帯域実装技術

【課題244】 空孔構造光ファイバ

- ☐ 高入力性を活用した光給電技術
- ☐ 大電力アナログRadio over Fiber
- ☐ 光ファイバと接続技術の基盤研究

👥 対象者

- ☐ **日本国内で登記された企業・大学等**で、外国政府の支配下になく、主たる技術開発拠点を国内に有する法人組織
- ☐ 当該研究開発課題に関する**技術又は関連技術の研究実績**を有する研究機関
- ☐ 複数人で構成される研究組織及び経理事務人員等を有する機関
- ☐ 過去3年間に年次決算実績があり、直近年度が黒字又は過去3年のうち2年は黒字の代表提案者

⚠ 補足事項

- ☐ 委託研究経費で製造・購入する設備備品は**機構の資産**となります
- ☐ 知的財産権は産業技術力強化法に基づき**受託者に帰属**しますが、機構は自主研究目的での実施権を有します
- ☐ 研究員は原則としてe-Radに登録済みで研究者番号が必要です

📊 戦略的分析

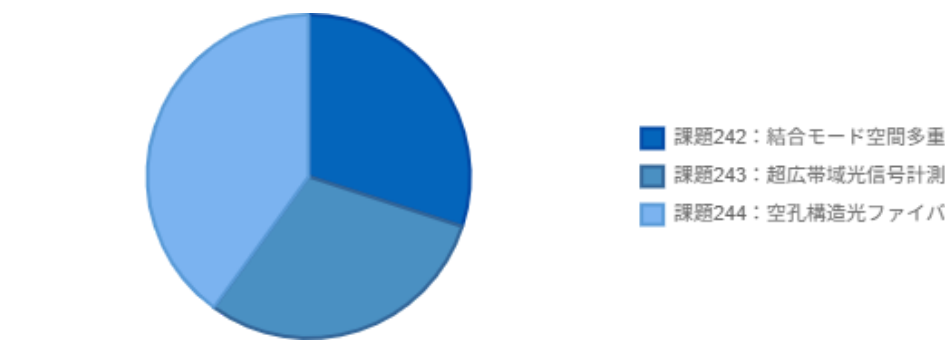
【採択成功の鍵】

- ☐ **技術的優位性**：既存技術との差別化要素を明確に示すことが重要です
- ☐ 実用化への道筋：**具体的な出口戦略**と産業界との連携計画が評価されます
- ☐ 研究実績：過去の関連研究成果と**継続性**を重視した提案が効果的です

【機構との連携重視】

- ☐ NICTの自主研究部門との**具体的連携計画**を必ず含めてください
- ☐ 機構の研究施設・設備の**無償利用**を積極的に活用した計画立案が有効です
- ☐ 標準化活動への貢献と**成果公開**への積極的姿勢をアピールしましょう

📊 研究課題の構成比率



課題242・243：各3年間、年間最大1億円の長期集中型研究

課題244：4年間、総額3.6億円の段階的予算配分型研究

💡 研究分野と技術要素

研究分野	主要技術要素
空間多重伝送	結合モード、ソフトウェア並列処理、フレキシブル制御
超広帯域計測	10Tbps級伝送、DC-200GHz信号処理、光電波融合
光ファイバ技術	空孔構造、高入力光給電、Radio over Fiber
実装技術	高周波デバイス、広帯域実装、接続技術
システム統合	エコシステム構築、サステナブル伝送技術

採択率向上のポイント

- ☐ **技術的独創性**：既存技術に対する**明確なブレークスルー**要素を提示してください
- ☐ **実現可能性**：技術的課題と解決策を具体的に示し、**段階的達成計画**を明確化しましょう
- ☐ **社会実装性**：研究成果の産業界への波及効果と標準化への貢献を重視してください
- ☐ **継続発展性**：委託期間終了後の自立的な研究継続計画も評価対象です

👤 専門家活用のススメ

- ☐ **提案書作成支援**：高度な技術内容を分かりやすく構成する専門家の助言が有効
- ☐ **評価委員会対策**：ヒアリング準備における技術プレゼンの専門的指導
- ☐ **予算計画策定**：多年度にわたる研究計画の適切な予算配分の助言
- ☐ **知財戦略立案**：研究成果の知的財産化と活用戦略について早期相談を推奨

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/21作成】

提出書類	チェックポイント
研究開発提案書	☐ 技術的優位性 の明確な記述 ☐ 実用化への 具体的道筋 の提示 ☐ NICT連携計画の詳細化
研究計画書	☐ 年度別の詳細スケジュール ☐ マイルストーンの明確化
予算計画書	☐ 費目別の適切な予算配分 ☐ 設備費の妥当性検証
組織・人員体制書	☐ 研究員のe-Rad登録確認 ☐ エフォート率の適切性

📅 申請スケジュール

📌 事前準備期間

提案書作成に1-2ヶ月必要。NICT連携先との事前調整が重要。関連技術調査と競合優位性の整理も早期着手を推奨。

📌 公募期間

2025年8月7日（木）～9月25日（木）正午

必着での提出が必須。郵送・宅配便での提出。
※提出期限厳守。遅延は一切受付不可。

📌 審査期間

10月～11月頃（予定）
書類審査後、ヒアリング審査実施

📌 採択結果通知

2025年12月頃
採択候補者に個別通知

📌 契約締結・開始

2026年4月～研究開始
スタートアップミーティング開催後、本格始動

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.nict.go.jp/collabo/commission/20250807kobo.html
研究概要図	https://www.nict.go.jp/collabo/commission/kobo/20250807kobo/244_k_eikaku_g.pdf
お問い合わせ	国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT） イノベーション推進部門 委託研究推進室 TEL：042-327-6011 ※お問い合わせは制度詳細ページよりお願いいたします。